

能代山本定住自立圏共生ビジョン

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和2年11月

目 次

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療	1
【基本目標】病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持	
ア 地域医療体制の充実・強化	
【KPI】医療施設数（病院）	
イ 医療従事者の確保対策	
【KPI】医師数（病院）	
ウ 健康寿命の延伸対策	
【KPI】悪性新生物死亡率（人口10万人対）	
②福祉	2
【基本目標】合計特殊出生率	
ア 子育て支援の充実	
【KPI】出生数	
イ 高齢者福祉の充実	
【KPI】要介護（要支援）認定者数	
③教育	3
【基本目標】文化会館及び図書館の維持	
ア 学校教育の充実	
【KPI】圏域内居住による奨学金の返還支援件数	
イ 生涯学習機会の充実	
【KPI】文化会館利用者数	
【KPI】図書館利用者数	
④産業振興	4
【基本目標】事業所数（民営）	
【基本目標】従業者数（民営）	
ア 広域観光の推進	
【KPI】延べ宿泊者数	
イ 地域資源を活用した経済の活性化	
【KPI】行祭事・イベント入込客数	
ウ 企業誘致等による雇用機会の確保	
【KPI】新規高卒者の圏域内への就職割合	
エ 農林水産業の担い手育成	
【KPI】新規就農者数	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通	6
【基本目標】路線バス等の輸送人員	
大館能代空港総利用者数	
ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進	
【KPI】路線バス等の輸送人員	
【KPI】大館能代空港総利用者数	
②道路等の交通インフラの整備	7
【基本目標】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	
ア 道路等の維持管理の連携	
【KPI】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	

③地域内外の住民との交流・移住促進	8
【基本目標】人口の社会増減数	
ア 移住定住の促進	
【KPI】市町への相談を経た移住者数	
イ 婚活支援事業の充実	
【KPI】婚姻数	
ウ 情報発信の強化	
【KPI】市町ホームページアクセス数	
④その他	9
ア 松枯れ被害の対策	
【KPI】民有林における松くい虫被害量	

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①圏域内市町の職員等の交流	10
【基本目標】能代山本定住自立圏構想検討会の開催	
ア 圏域市町職員の交流・合同研修	
【KPI】定住自立圏研修等の実施	

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況集計表

○令和元年度

基本目標	合計	順 調 (^~^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	実績不明	未確定
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	6	3	3	4	1
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	8	5	0	3	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	27	13	3	6	4	1

○平成30年度

基本目標	合計	順 調 (^~^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	実績不明	未確定
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	7	2	4	4	0
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	8	5	0	3	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	27	14	2	7	4	0

【評価区分等の説明】

○順 調…目標値または当該年度の仮の目標値(以下「目標値等」という。)に達している。

○横ばい…目標値等との間に隔たりはないものの、目標値等に達しておらず、基準値と大差ない。

○不 調…目標値等に達しておらず、目標値等との間に隔りがある。

○実績不明…国や県の統計等の調査年にあたっておらず、実績値がわからない。または、集計対象等が変更されたことにより、基準値と比較できる実績値がわからない。

○未確定…国や県の統計等の公表時期が到来していないため、今回確定できない。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療

基本目標	(1)病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1	1		1	—
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>広域市町村圏組合に対する各市町の負担金により維持している。</p>							達成状況	順調 (^-^)

※1=維持

ア 地域医療体制の充実・強化

【具体的な事業】救急医療等支援事業

KPI	(2)医療施設数(病院)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	7	7	7	7	6		7	施設
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>1病院が病床数の減少により一般病院の要件から外れた。厚生医療センターでは「経営改善プロジェクト」に、JCHOでは職員のスキルアップ研修に、医師会病院では一般事業主行動計画によるワーク・ライフ・バランスの推進等に継続して取り組んでいる。</p>							達成状況	横ばい (-)

イ 医療従事者の確保対策

【具体的な事業】産科医等確保支援事業

KPI	(3)医師数(病院)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	106	113	107				106	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>厚生労働省が公表する「医療施設(静態)調査」に基づく数値であるが、3年ごとの調査であり、次回の調査は令和2年、公表は令和4年4月に予定されている。</p>							達成状況	実績不明

ウ 健康寿命の延伸対策

【具体的な事業】健康づくり推進事業、がん対策事業

KPI	(4)悪性新生物死亡率(人口10万人対)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	500.6	548.0	525.2	562.1			450.0	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>秋田県衛生統計年鑑に基づく数値であるが、例年は3月に公表されている。</p>							達成状況	未確定

②福祉

基本目標		(5)合計特殊出生率						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1.36	1.28	1.38	1.39	1.37		1.60	—
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>29年度から横ばいで推移しているが、算出の基となる出生数、女子人口はともに減少している。進学、就職に伴う女性の転出増が影響していると考えられる。</p> <p>また、結婚に対する価値観の変化やライフスタイルの変化等による未婚化・晩婚化も影響していると考えられる。</p>								不調 (>_<)

ア 子育て支援の充実

【具体的な事業】福祉医療事業、母子保健事業、病児保育事業

KPI		(6)出生数						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	369	347	333	319	293		370	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>進学・就職に伴う女性の転出増、出会いの機会の減少や結婚に対する価値観の変化による未婚化が影響していると考えられる。</p>								不調 (>_<)

イ 高齢者福祉の充実

【具体的な事業】緊急通報システム事業、生活管理指導短期宿泊事業

KPI		(7)要介護(要支援)認定者数						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	6,978	7,096	7,074	7,217	7,092		7,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>横ばいで推移しているが、要支援認定者数が減少し要介護認定者が増加している。介護予防事業の利用促進が必要と考えられる。</p>								横ばい (-_-)

③教育

基本目標	(8)文化会館及び図書館の維持							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1	1	1	1	—
<p>1 0 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							指定管理者による適切な管理運営を行っている。民間のノウハウを活かし、工夫をしながら利用しやすい運営に努めている。	順調 (^~^)

※1=維持

ア 学校教育の充実

【具体的な事業】ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

KPI	(9)圏域内居住による奨学金の返還支援件数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	16	20	23	30	32		40	件
<p>50 40 30 20 10 16 20 23 30 32 40 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							事業の利用者、圏域内居住による奨学金の返還支援者は着実に増えており、制度の周知による効果徐徐に出てきていると思われる。返還支援者の割合は約3割であり、定住促進にも一定の効果が現れている。	横ばい (- -)

イ 生涯学習機会の充実

【具体的な事業】文化会館・図書館管理運営事業、生涯学習推進事業

KPI	(10)文化会館利用者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	104,525	102,915	94,469	106,312	109,033		105,000	人
<p>120,000 110,000 100,000 90,000 104,525 102,915 94,469 106,312 109,033 105,000 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							音響照明改修工事や新型コロナウイルス感染症対策に伴う催事の中止により、ホール利用者数は減少したものの、東北青年会議所フォーラム開催に伴う部門別会議や展示会場としての使用があり、全体の利用者数は増加した。	順調 (^~^)

KPI	(11)図書館利用者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	114,806	109,719	110,233	114,362	127,198		115,000	人
<p>130,000 120,000 110,000 100,000 114,806 109,719 110,233 114,362 127,198 115,000 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							30年2月の二ツ井図書館の開館に伴い、全体の利用者数は増加した。能代図書館の利用者数は、人口減少や新型コロナウイルス予防のための一部入館規制や事業中止により減少している。	順調 (^~^)

④産業振興

基本目標	(12)事業所数(民営)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	4,238	4,101					4,200	箇所
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>経済センサスに基づく数値であるが、次回の調査は令和元年、公表は令和2年度となる。</p>								実績不明

基本目標	(13)従業者数(民営)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	31,125	30,230					31,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>経済センサスに基づく数値であるが、次回の調査は令和元年、公表は令和2年度となる。</p>								実績不明

ア 広域観光の推進

【具体的な事業】広域観光推進事業

KPI	(14)延べ宿泊者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	182,925	151,046	182,925	198,816	194,482		186,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>目標値は達成しているものの、前年に比べ減少した。能代火力発電所3号機建設に伴う宿泊需要がピークを過ぎたことが要因として考えられる。</p>								順調 (^-^-)

イ 地域資源を活用した経済の活性化

【具体的な事業】グリーン・ツーリズム推進事業、スポーツ文化合宿誘致事業、地域活性化イベント支援事業、特産品販路拡大事業

KPI	(15)行祭事・イベント入込客数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	881,944	945,367	894,704	693,438	662,881		900,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>秋田県観光統計に基づく数値であるが、集計地点数の減少や、集計方法の見直しにより基準値・目標値と比較できないため評価できない。</p>								実績不明

ウ 企業誘致等による雇用機会の確保

【具体的な事業】企業誘致活動、地域雇用対策事業

KPI	(16)新規高卒者の圏域内への就職割合							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	36.9	39.4	44.1	44.4	42.5		40.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							<p>男子の管内就職率の低下が、全体の管内就職率の低下につながった。男子の管内就職率低下の要因として、県外の技術関係求人に応募する男子生徒が多かったことが一因と考えられる。</p>	順調 (^-^)

エ 農林水産業の担い手育成

【具体的な事業】就農支援事業、農業人材育成事業

KPI	(17)新規就農者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	29	41	30	32	16		35	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							<p>目標値を下回ったものの、国の「農の雇用事業」や「次世代人材投資事業」の活用等により一定の成果が見られる。Uターンが約5割を占めるため、移住対策の中でも引き続き周知を図っていく。</p>	不調 (>_<)

(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通

基本目標	(18)路線バス等の輸送人員							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	446,846	401,037	392,991	372,567	340,207		446,000	人
				<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>人口減少や少子化・高齢化、自家用車保有率の上昇等により全体として減少している。減少傾向は今後も続くと考えられるため、能代市南部地域デマンド型乗り合いタクシーの実証運行や三種町ふれあいバス・巡回バスの取組を進めるなど、住民ニーズに合った公共交通体系を検討していく必要がある。</p>			達成状況	不調 (>_<)

基本目標	(19)大館能代空港総利用者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	123,773	131,517	138,584	150,570	148,761		145,000	人
				<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>年間で前年を下回ったが、目標値は達成している。運賃助成事業の効果もあり、2月までの利用者数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月は個人旅行者及び団体旅行者の利用がともに前年同月を大幅に下回った。</p>			達成状況	順調 (^-^)

ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進

【具体的な事業】生活バス路線等維持対策事業、路線バス等利用促進事業

KPI	(18)路線バス等の輸送人員(再掲)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	446,846	401,037	392,991	372,567	340,207		446,000	人
				<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>人口減少や少子化・高齢化、自家用車保有率の上昇等により全体として減少している。減少傾向は今後も続くと考えられるため、能代市南部地域デマンド型乗り合いタクシーの実証運行や三種町ふれあいバス・巡回バスの取組を進めるなど、住民ニーズに合った公共交通体系を検討していく必要がある。</p>			達成状況	不調 (>_<)

【具体的な事業】大館能代空港利用促進事業

KPI	(19)大館能代空港総利用者数(再掲)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	123,773	131,517	138,584	150,570	148,761		145,000	人
				<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>年間で前年を下回ったが、目標値は達成している。運賃助成事業の効果もあり、2月までの利用者数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月は個人旅行者及び団体旅行者の利用がともに前年同月を大幅に下回った。</p>			達成状況	順調 (^-^)

②道路等の交通インフラの整備

基本目標	(20)道路及び道路構造物の効率的な維持管理							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1	1		1	—
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				<p>除雪作業については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。また、能代市と藤里町の境界にある三ノ倉トンネルについて、5年ごとに定期点検を実施し、能代市と藤里町で相応分の費用を負担している。</p>			順調 (^-^)	

※1=維持

ア 道路等の維持管理の連携

【具体的な事業】道路等の維持管理

KPI	(20)道路及び道路構造物の効率的な維持管理(再掲)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1	1		1	—
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				<p>除雪作業については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。また、能代市と藤里町の境界にある三ノ倉トンネルについて、5年ごとに定期点検を実施し、能代市と藤里町で相応分の費用を負担している。</p>			順調 (^-^)	

※1=維持

③地域内外の住民との交流・移住促進

基本目標	(21)人口の社会増減数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	▲ 403	▲ 427	▲ 385	▲ 500	▲ 444		▲ 320	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成30年度と比べると数値はやや上昇したが、全市町とも社会減で推移する年が多く、社会減は拡大傾向にある。移住者数の増加をはじめ、成果が徐々に現れている項目もあるが、引き続き、社会減の抑制に向けた取組を強化していく必要がある。	不調 (>_<)

ア 移住定住の促進

【具体的な事業】空き家活用事業、移住定住促進事業、移住支援金

KPI	(22)市町への相談を経た移住者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	41	38	45	60	58		50	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							前年を下回ったが、増加傾向にあり、目標値を上回っている。全国的にふるさと回帰や地方移住への関心が高まってきていることに加え、各市町における移住相談会への参加や移住希望者に対する各種支援の成果によるものと考えられる。	順調 (^_^)

イ 婚活支援事業の充実

【具体的な事業】出会い創出事業、あきた結婚支援センター会員登録助成事業

KPI	(23)婚姻数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	239	244	210	194	213		250	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							減少傾向にあり、就職・進学等による若者の転出や、出会い・結婚に対する意識の変化等により未婚化が進んでいることなどが要因として考えられる。	不調 (>_<)

ウ 情報発信の強化

【具体的な事業】圏域情報発信事業

KPI	(24)市町ホームページアクセス数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	—	945,060	1,045,945	1,192,065	1,258,173		1,000,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							年々増加傾向にあり、目標値を大きく上回っている。各市町のホームページの改修や内容の充実等により、着実にアクセス数が増加している。	順調 (^_^)

④その他

ア 松枯れ被害の対策

【具体的な事業】松くい虫対策事業

KPI	(25) 民有林における松くい虫被害量							単位
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	
27年度	11,360	12,579	7,585	4,972	3,995		10,000	m ³
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							29年度から被害は大幅に減少している。薬剤散布と伐倒駆除の併用による効果と考えられるが、県内の民有林の被害量の46%が能代山本地域で発生しており、引き続き、抜本的な対策を国や県に働きかけていく。	順調 (^-^)

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 圏域内市町の職員等の交流

基本目標	(26) 能代山本定住自立圏構想検討会の開催							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1	1		1	—
		推移の分析・考えられる要因 1回以上の開催で「1」としている。 元年度は検討会を3回実施し、新たな連携事業等の検討を行っている。						達成状況
								順調 (^-^)

※1=維持

ア 圏域市町職員の交流・合同研修

【具体的な事業】広域連携職員研修

KPI	(27) 定住自立圏研修等の実施							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	0	1	1	1	1		1	件
		推移の分析・考えられる要因 検討会メンバーによる先進地視察として、新潟県の新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏と村上岩船定住自立圏を訪問し、婚活支援事業の取組等を研究した。						達成状況
								順調 (^-^)